

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年11月15日(2018.11.15)

【公開番号】特開2017-72895(P2017-72895A)

【公開日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-015

【出願番号】特願2015-197791(P2015-197791)

【国際特許分類】

G 06 F 17/21 (2006.01)

G 06 F 17/25 (2006.01)

G 06 F 3/048 (2013.01)

【F I】

G 06 F 17/21 6 1 0

G 06 F 17/25

G 06 F 3/048

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月1日(2018.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

文字列に含まれる文字のうち処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する第1の判定手段と、

前記第1の判定手段により前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記占有領域情報で示される占有領域が前記表示領域に収まるか否かを判定する第2の判定手段と、

前記第2の判定手段により前記占有領域が前記表示領域に収まると判定された場合、前記処理対象の文字の一つ前の文字と同じ行、又は列の後ろの位置に前記処理対象の文字の配置位置を決定し、前記第2の判定手段により前記占有領域が前記表示領域に収まらないと判定された場合、前記処理対象の文字の一つ前の文字とは異なる行、又は列に前記処理対象の文字の配置位置を決定する決定手段と、  
を有する情報処理装置。

【請求項2】

前記第1の判定手段により前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、前記処理対象の文字が設定された文字か否かを判定する第3の判定手段を更に有し、

前記取得手段は、前記第3の判定手段により前記処理対象の文字が設定された文字であると判定された場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する請求項1記載の情報処理装置。

【請求項3】

文字列に含まれる文字のうち処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する第1の判定手段と、

前記第1の判定手段により処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まると判定された場合、前記処理対象の文字が行、又は列の先頭文字か否かを判定する第2の判定

手段と、

前記第2の判定手段により前記処理対象の文字が行、又は列の先頭文字であると判定された場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記処理対象の文字の占有領域情報に基づいて、設定された方向へ移動可能な幅を導出する導出手段と、

前記処理対象の文字の配置位置を決定する決定手段と、

前記第1の判定手段により処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、現在の行、又は列において既に配置位置が決定されている文字を前記幅の分、前記方向に寄せると、前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する第3の判定手段と、

前記第3の判定手段により現在の行、又は列において既に配置位置が決定されている文字を前記幅の分、前記方向に寄せると、前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まると判定された場合、現在の行、又は列において既に配置位置が決定されている文字の配置位置を前記幅の分、前記方向に移動するよう更新する更新手段と、  
を有する情報処理装置。

#### 【請求項4】

前記取得手段は、前記処理対象の文字の文字領域を分割した領域のうち、文字の形状が含まれる領域の和集合を前記処理対象の文字の占有領域情報として取得する請求項1乃至3何れか1項記載の情報処理装置。

#### 【請求項5】

全文字列が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により全文字列が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、前記表示領域の形状を変更する変更手段と、

前記変更手段により変更された前記形状の表示領域に前記文字列の文字を配置する配置手段と、

を有する情報処理装置。

#### 【請求項6】

前記変更手段は、前記判定手段により全文字列が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、前記表示領域に包含される矩形で面積が最大となる矩形に前記表示領域の形状を変更し、前記表示領域の近傍にスクロールバーを配置する請求項5記載の情報処理装置。

#### 【請求項7】

文字列に含まれる文字のうち処理対象の文字が行、又は列の先頭文字か否かを判定する第1の判定手段と、

前記第1の判定手段により前記処理対象の文字が行、又は列の先頭文字であると判定された場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する第1の取得手段と、

前記第1の取得手段により取得された前記処理対象の文字の占有領域情報に基づいて、設定された方向へ移動可能な幅を導出する導出手段と、

前記幅の分、前記方向に寄せて前記処理対象の文字の配置位置を決定する決定手段と、

前記第1の判定手段により処理対象の文字が行、又は列の先頭文字でないと判定された場合、前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する第2の判定手段と、

前記第2の判定手段により前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する第2の取得手段と、

前記第2の取得手段により取得された前記占有領域情報で示される占有領域が前記表示領域に収まるか否かを判定する第3の判定手段と、

前記第3の判定手段により前記占有領域が前記表示領域に収まらないと判定された場合、現在の行、又は列において既に配置位置が決定されている文字の配置位置を前記方向と逆の方向に移動するよう調整する調整手段と、

を有する情報処理装置。

【請求項 8】

表示部の表示領域に表示される文字列に含まれる文字のうち処理対象の文字の文字領域が、前記表示領域のうち前記処理対象の文字の1つ前の文字と同じ行又は列に収まらない場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記占有領域情報で示される占有領域が前記表示領域に収まる場合、前記処理対象の文字の1つ前の文字と同じ行又は列であって、前記処理対象の文字の1つ前の文字の後ろの位置に前記処理対象の文字の配置位置を決定する決定手段と、

を有する情報処理装置。

【請求項 9】

文字の字形情報を取得する取得手段と、

表示部の表示領域に表示される文字の行又は列において、特定文字が先頭に配置される場合、前記取得手段で取得した前記特定文字の字形情報に基づき、前記特定文字の字形が前記表示領域をはみ出さない範囲の距離分、前記特定文字の配置位置を調整し、特定文字以外が先頭に配置される場合、先頭に配置された先頭文字の配置位置を調整しない調整手段と、

を有する情報処理装置。

【請求項 10】

情報処理装置が実行する情報処理方法であって、

文字列に含まれる文字のうち処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する第1の判定ステップと、

前記第1の判定ステップにより前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得された前記占有領域情報で示される占有領域が前記表示領域に収まるか否かを判定する第2の判定ステップと、

前記第2の判定ステップにより前記占有領域が前記表示領域に収まると判定された場合、前記処理対象の文字の一つ前の文字と同じ行、又は列の後ろの位置に前記処理対象の文字の配置位置を決定し、前記第2の判定ステップにより前記占有領域が前記表示領域に収まらないと判定された場合、前記処理対象の文字の一つ前の文字とは異なる行、又は列に前記処理対象の文字の配置位置を決定する決定ステップと、

を含む情報処理方法。

【請求項 11】

情報処理装置が実行する情報処理方法であって、

文字列に含まれる文字のうち処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する第1の判定ステップと、

前記第1の判定ステップにより処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まるか否かを判定された場合、前記処理対象の文字が行、又は列の先頭文字か否かを判定する第2の判定ステップと、

前記第2の判定ステップにより前記処理対象の文字が行、又は列の先頭文字であると判定された場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得された前記処理対象の文字の占有領域情報に基づいて、設定された方向へ移動可能な幅を導出する導出ステップと、

前記処理対象の文字の配置位置を決定する決定ステップと、

前記第1の判定ステップにより処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、現在の行、又は列において既に配置位置が決定されている文字を前記幅の分、前記方向に寄せると、前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する第3の判定ステップと、

前記第3の判定ステップにより現在の行、又は列において既に配置位置が決定されてい

る文字を前記幅の分、前記方向に寄せると、前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まると判定された場合、現在の行、又は列において既に配置位置が決定されている文字の配置位置を前記幅の分、前記方向に移動するよう更新する更新ステップと、を含む情報処理方法。

#### 【請求項 1 2】

情報処理装置が実行する情報処理方法であって、  
全文字列が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する判定ステップと、  
前記判定ステップにより全文字列が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、前記表示領域の形状を変更する変更ステップと、  
前記変更ステップにより変更された前記形状の表示領域に前記文字列の文字を配置する配置ステップと、  
を含む情報処理方法。

#### 【請求項 1 3】

情報処理装置が実行する情報処理方法であって、  
文字列に含まれる文字のうち処理対象の文字が行、又は列の先頭文字か否かを判定する第1の判定ステップと、

前記第1の判定ステップにより前記処理対象の文字が行、又は列の先頭文字であると判定された場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する第1の取得ステップと、

前記第1の取得ステップにより取得された前記処理対象の文字の占有領域情報に基づいて、設定された方向へ移動可能な幅を導出する導出ステップと、

前記幅の分、前記方向に寄せて前記処理対象の文字の配置位置を決定する決定ステップと、

前記第1の判定ステップにより処理対象の文字が行、又は列の先頭文字でないと判定された場合、前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まるか否かを判定する第2の判定ステップと、

前記第2の判定ステップにより前記処理対象の文字の文字領域が表示部の表示領域に収まらないと判定された場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する第2の取得ステップと、

前記第2の取得ステップにより取得された前記占有領域情報で示される占有領域が前記表示領域に収まるか否かを判定する第3の判定ステップと、

前記第3の判定ステップにより前記占有領域が前記表示領域に収まらないと判定された場合、現在の行、又は列において既に配置位置が決定されている文字の配置位置を前記方向と逆の方向に移動するよう調整する調整ステップと、

を含む情報処理方法。

#### 【請求項 1 4】

表示部の表示領域に表示される文字列に含まれる文字のうち処理対象の文字の文字領域が、前記表示領域のうち前記処理対象の文字の1つ前の文字と同じ行又は列に収まらない場合、前記処理対象の文字の占有領域情報を取得する取得工程と、

前記取得工程により取得された前記占有領域情報で示される占有領域が前記表示領域に収まる場合、前記処理対象の文字の1つ前の文字と同じ行又は列であって、前記処理対象の文字の1つ前の文字の後ろの位置に前記処理対象の文字の配置位置を決定する決定工程と、

を含む情報処理方法。

#### 【請求項 1 5】

文字の字形情報を取得する取得工程と、

表示部の表示領域に表示される文字の行又は列において、特定文字が先頭に配置される場合、前記取得工程で取得した前記特定文字の字形情報に基づき、前記特定文字の字形が前記表示領域をはみ出さない範囲の距離分、前記特定文字の配置位置を調整し、特定文字以外が先頭に配置される場合、先頭に配置された先頭文字の配置位置を調整しない調整工程と、

を含む情報処理方法。

【請求項 1 6】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 何れか 1 項記載の情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。